

商店が活気付けば

きっと小諸が元気になる

橋義英さん

(49歳

御菓子司

を伺いました。 いない!」というわけで、 れはきっと熱い思いがあるに違 目にする和菓子店「風味堂」。「こ レーション企画などで最近よく イベントや他店とのコラボ お話

本格的に菓子作りを学び、 の老舗の歴史は面白い。先代が たのが始まりだというから小諸 義英さんの曾祖母が饅頭を売っ が、洋装への変化で需要が減り、 もとは着物の帯紐を作っていた 高橋義英さんは5代目だ。もと 創業は明治21年。現在の店主・ 和洋

## たてが並ぶ。 菓子に特化。生菓子は毎朝作り 菓子の店となったが、 現在は和

と引き受けてくれた。義英さん きゃね」。そういえばこの取材 ありがたい。できることはしな て声をかけてくださるのだから 意気を感じた。「うちに期待し めかすが、続く言葉にプロの心 聞くと「断れないだけ」と冗談 いった。コラボに対する熱意を 店とコラボする機会も増えて 販売をきっかけに、様々なイベ ントに出店するようになり、他 4年ほど前、市役所での出張 「自分が役に立てるのなら」

> 荒町実業会の会長として、商店 代」と、イベントにも積極的に 菓子の材料はなるべく地元の店 力もしている。 が協力して盛り上がれるよう尽 参加する。小諸商店会連合会と 待つだけでなく、売りに行く時 や生産者から仕入れる。「店で ならなければ」と話す。だから、 になるためには、商店が元気に 育った義英さん、 と商店が連なり活気ある時代に のスタンスは一貫している。 与良から荒町、 相生町、 「小諸が元気 本町

> > 咳や痰に悩まされことに。乾

用意してくれた秋のくだもの、 燥を嫌う肺のために自然界が

積極的にとりたいものです。

頃。内臓で一番ダメージを受

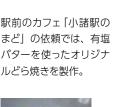
膚や髪のパサつきが気になる 界も人のからだも乾燥し、皮 ます。秋から冬にかけて自然 秋の空気から肺を守ってくれ

けるのが肺で、風邪をひき、

べる人もいるだろう。最初の に貼っていた「書」を思い浮か 「風味堂」といえば、店の前

> は、 こりさせられたものだ。お客様 と奥様が受け継いでいく。 をもてなすあたたかな気持ち が、先代の奥様がしたためた、 自由で詩的な言葉たちにはほっ 目的は壁の穴隠しだったそうだ 和菓子の味と共に義英さん (取材・文 村松マヤ)





24 76%)

·ビス精神旺盛な高橋義英さん。最新情報は スタグラムで配信中。 風味堂 🕿 23-1815





11月末まで開催される、 「城下町小諸で秋のスイ・ ツめぐり」の限定商品 「栗あん団子」。

> 維が多く整腸作用が期待できま く、抗動脈硬化だけでなく抗が ビタミンCがレモンよりも多 秋の一時期だけ並ぶアケビは、 話をしたいと思います。店頭で 野性味の強いアケビとザクロの ています。 木通は生薬で、尿の出をよくし サンーク
> す。アケビのツルを乾燥させた たり、口内炎の治療にも使われ ん作用の高いくだもの。食物繊 今回は同じくだものでもより

らに慢性下痢などに効果が。 食は禁物です。ほどほどに。 ただし、アケビもザクロも 尿病や循環器疾患、がん、さ ンと同じ分子構造を持ち、 さて、ザクロは女性ホル モ

## ゆらさんの四季の薬膳

んご…いずれも乾燥しやすい



アケビとザクロ

国際中医薬膳師

小清水由良)